

2013年
クイーン倶楽部だより 10月号
第130号

ERN 有限会社エコ・ライス新潟
新潟県長岡市脇川新田町字前島970-100
TEL 0258(66)0070 FAX 0258(66)0447
URL <http://www.eco-rice.jp/>
E-mail eco-net@nekonet.ne.jp



台風18号の影響で倒れてしまった刈り取った米をトラックに積み込んで、作業所に戻り乾燥機で乾燥、粉摺り、袋詰をしてからエコ・ライスへ出荷されます。

25年産 新米 穂りました!

雨ニモ負ケズ、風ニモ負ケズ…
新米をお届けいたします!

新米のご挨拶が「異常気象」で始まるのが今年で通算3年目。今年も大雪で雪解けが遅く、6月に入ると高温で、雨の降らない日々が続きました。例年より早く、お盆には早生地区では稲刈りが始まりましたが、その後は豪雨により中断。そして、台風18号により収穫直前の穂った稲が水没…。それでも、稲は確実に穂り豊かな恵みをもたらしてくれます。自然に畏敬の念を抱きながら皆さまに新米をお届けします!

新米の美味しい炊き方 ✨

- 新米は水分をたくさん含んでいるので割れやすくなっています。優しく研ぎましょう。
- 研いだあとの水を米に吸わせないように研ぎ汁は手早く捨てましょう。
- 水加減はいつもより少なめに。

ドクター中村の
健康徒然記
その32

高度専門医は維持が大変だ



中村 信也(なかもらのぶや)
医学博士。東京家政大学家政学部栄養学科教授として教鞭をとり、「食と医療の医療薬膳研究の第一人者」として活躍中。

今回は医師の世界の裏話になります。日本では、どんな病気でも対応できる医師より、ある病気が対応できない専門医師が高級という「高度専門医療信仰」があります。このため医師は色んな分野の専門医を取得して、専門医と患者さんに認めてもらわねばなりません。しかし、専門認定医の維持が大変なのです。学会発表や論文発表は立派な専門医の証ですが、どういわけかそれには関係なく、研修会に出席して講義を聴かねば維持できない制度になっています。研修に出席して一定の単位を集めると維持できます。普通五年更新ですので、維持する限りエンドレスに研修出席するようになります。

最先端の知識を得るのが専門医という発想でしょうが、実態は学会の資金調達です。認定医学会は職員給料、事務所借料、外国人学会招待など資金が必要で、資金調達せざるをえません。研修は一時間の講義を聴いて一単位もらえます。相場は一単位千円ですので、三単位の研修では、一人三千円、百人来て三万円調達できます。

認定医維持は大変です。三つの専門医の認定を維持で大多忙、五つの認定医維持は地獄です。しかしこれは裏ワザがあります。時間と体力を分散するために自分の分身を作ります。研修は出席することに意義がありますので、院長自身の事務長が出席します。事務長は出席に慣れていますので会場では堂々としていきますのではありませんか。

私は産業界の認定医のみ持続しています。五年で更新するのですが、更新時期が迫ると全国研修行脚の旅が始まります。ある研修会では、堂々と製薬会社丸抱え研修会でした。薬剤紹介に続き、講義中もスライドにその薬剤が、とても有効とさりげなく出てきます。終了後は懇親会です。これで無料でした。先月、降圧薬の論文ねつ造が暴露されましたが、それには認定医制度が絡んでいます。患者さんはいつでもどんな病気でも笑顔で診てくれてよく治る、が高度専門医の評価するよりいいことなんです。